

# 第11回日本の次世代リーダー養成塾に参加して

参加した高校生の皆さんの感想をご紹介します。

## ◇卒塾生の感想文より（順不同）

No.1	1年生女子
------	-------

### 1 リーダー養成塾を受講して

私は、リーダー養成塾を受講して、日常では、到底味わえない多くのことを学びました。

特に、私にとって刺激的だったのは、人とのつながりです。アジア各国から、多くの学生が集まることで、学校とは違う仲間をつくることができたし、様々な考え方とも出会うことができ、自分なりの考え方の引き出しがたくさんできました。世界観が広がり、1つの物事に対して、多方向から見ることができ、視野が広がりました。

また、アジア各国から集まっているということもあり、今まで国と国との間で起こっていた国境問題があり、相手国に対して偏見を持っていたが、中国や韓国、モンゴルの子たちと話すうちに、私の勘違いだったことに気がついて、リーダー養成塾に行く前と行った後では、外国に対する思いが、変化することができました。

### 2 印象に残った講義とその理由

三日目に行われた国境なき医師団日本会長である黒崎伸子先生の講義です。

なぜなら、先生のモットーでもある「やらないで後悔するより、やって後悔！何かに挑戦することは勇気がいりますが、たとえ失敗したり嫌な思いをしたとしても、必ず何かを学ぶことができます。そして、他人への対応や物事の見方が変わっている自分がいます。そうすることで、小さい1人の力でも、何かをなすことにつながっていく」という話を聞いて、夢について前向きに考えられるようになりました。私の夢は、看護師です。この強い気持ちが黒崎先生の講義を聞いて、より強まりました。さらに、海外で活動したいという新たな夢も増えました。そのために、今すぐには無理かもしれないけれど、いつか英語かフランス語を母国語とする国に行きたいという気持ちが生まれました。私が黒崎先生の講義を受けて考え方が前向きになったし、新たな夢もできました。今後の生活に生かしていきたいです。

### 3 今後のわたし

私は、これからの人生で様々な困難に立ち向かうことがあると思うが、どんな壁でもリーダー養成塾で学び、身につけたことを生かして、乗り越えていきたいです。

私のリーダー養成塾2週間の目標は、Make my new dream to become true.~世界観を広げる~でした。これは、「新たな夢を叶える」という意味で、夢を叶える力をつけたいと思います。私自身この目標は、これからの自分次第で達成度が変わってくると思います。達成するためには、講義でもあったように、目先の問題解決に率先して関わる積極的態度を身につけていくこととリーダーシップを発揮する習慣を身につけることです。

ほとんどの先生方がおっしゃっていたように、「親のやって欲しいことは気にせず、自分の魂をみがき、何事も諦めず最後まで努力すれば、必ず叶う！とにかく、自分の夢を皆の前で堂々と口に出すことができることが大切だ」ということを胸において取り組んでいきたいです。

### 1 リーダー養成塾を受講して

リーダー塾に参加できて良かった、という一言に尽きます。

出発する直前や参加してまもないころは、受験を間近に控えているにも関わらず来て良かったんだらうか、失敗だったかもしれない、というのが、正直な思いでした。しかし、プログラムが進むにつれて、この活動は今自分に必要なものだと感じるようになり、不安な思いは少なくなりました。むしろ、不安ばかりが前に出て結局何もしないよりは、今は活動に専念し、帰ってから勉強に打ち込もう、と考えるようになりました。

帰ってきた今では、リーダー塾に参加したことは誇れる選択だったと思っています。そのように考えられるようになったのも、各界のトップをゆくたくさんの方の講師の方の話や高い志をもった塾生、サポートして頂いた大人との出会いがあったからです。二週間の生活には失敗も反省もありました。しかし、だからこそ得られたものもあります。やらないより、やって後悔する方がずっといい、とはよく言われますが、私の経験そのものだったのではないかと思います。期間中お世話になった事務局の方、塾生のみんな、そして、これまでもこれからも何より一番支えてくれる家族に感謝の気持ちでいっぱいです。

### 2 印象に残った講義とその理由

どの先生方の講義も、ハッと気付かされるような講義ばかりでしたが、その中でも、毎日新聞社の客員編集委員でいらっしゃる西川恵先生の講義が強く印象に残っています。上手く相手から話を聞き出そうとするのではなく、相手と対話をすることによって思いがけない何かが広がる。これを先生は「化学変化が起きる」とおっしゃっていました。自分で想定したイメージをそのまま相手に押しつけようとするならば、イメージと全く同じか、それよりも程度の低いものになってしまう。それは、自分にインタビューの技術があるかないかという話ではなく、相手に対する尊敬や尊重の念が欠けているからだと学びました。これはインタビューだけではなく、社会で生きる人間ならだれでも必要なことであり、今私たちが欠けがちになっていることだと思います。出来るだけ自分をオープンにさらけ出して、相手と「化学変化を起こす」。これから社会に出て行く者としてぜひ覚えておきたい心構えだと思いました。

### 3 今後のわたし

私が期間中に一番、負担に感じていたことはディスカッションでした。しかし、同時に一番自分の糧になったと思うことでもあります。

二週間、毎日ディスカッションを繰り返していく中で、意見をまとめる方法やうまくディスカッションを進めていく方法のほかに、論理的に考える方法も学ぶことが出来ました。今の生活では、ディスカッションそのものの機会はほとんどありませんが、自分の考えを深めたり、相手の考えをくみ取ったり、日常で何気なく転がっている行為ひとつひとつのなかに、少しでも役立てていきたいです。

リーダー塾参加にあたって気付かされたことは、やってみないとその先は分からない、ということです。やってみて、失敗することも含めて、自分で乗り越えていかなければその先には何もありません。だからこそ、自分でやらなければ意味がない。たとえばそれが団体での活動だった時に、いかに自分にまわりを巻き込んでいけるか、それがリーダーシップであると学びました。堅苦しく追いつめるのではなく、自分の活動にまわりを巻き込んでいくという、全てにおいて能動的である姿勢はこれからの学校生活や、受験、受験後の生活においても生かしていけるのではないかと思います。

今回得た大きな世界をきっかけに、これからは世界に目を向け身近で小さなことから自分を発信することができる人間になることを目標にしながら、世界で活躍できるよう夢を追いかけていきたいです。

### 1 リーダー養成塾を受講して

リーダー養成塾での二週間は本当に一瞬の出来事でした。行くまでの気持ちと行った後の気持ちには大きな違いがあり、このリーダー養成塾を勧めてくださった先生方や、お金を出してくれた両親にもう一度感謝をしたいと思います。向こうでの活動は普通の夏休みではまったく味わえないような体験ばかりで、とても新鮮でした。更に自分と同じ年代の外国の方や色々な場所に住んでいる人とは、生活スタイルも気候も何もかも環境が違います。そんな中で、二週間の共同生活はとても不安で、やっていけるのか、周りに迷惑をかけていないかなど講義だけでなく、自己中心的にならず周りとの協調して生活することの大切さや、それを実践することの難しさを、学ぶことができた二週間でもありました。もちろん生活だけでなく様々な著名な先生方のご講義からも多くのことを学びました。ですが、ただ話を聞いて学ぶだけでなく、その後のクラスでのディスカッションが新鮮でとても楽しかった思い出があります。そのほか、語り足りないところは多くありますが、ここでもう一度、このリーダー養成塾へ勧めてくださった先生方、両親、そして向こうで出会い、語り合った仲間たちに尊敬と感謝を述べて全体の感想とさせていただきたいと思います。有難うございました。

### 2 印象に残った講義とその理由

私が一番印象に残ったご講義は、薩摩焼の現当主第十五代沈壽官先生のご講義です。

その理由としては、まず講義の内容として日本人とは外国と比べてどのような性質を持っているのか、自分の進路の決め方などの先生の話と、その先生の立ち振舞いや人生観などの先生本人の魅力に大きく感動したためです。

講義の内容の方では、日本人は保存し活用する性質があり、否定しきれない、捨てられないという事が言えるそうです。勿体無いという言葉が日本で当たり前のように使われてきたことから、分かるとおっしゃっていました。このような興味をそそる話を多くしてくださいました。

そして、先生本人の魅力というのが、話し方と雰囲気です。特に変な話し方や笑いを多く入れるということではなく、先生の間使い方や、対等であるかのような姿勢にとっても感動しました。

### 3 今後のわたし

このリーダー塾に参加するにあたって、私の二週間の目標は自分の心を変えるという事でした。それは全てとは言いませんが、達成することができ、少しは自分の心を変えることが出来たと思います。実際、このリーダー塾に来るまでは自分の夢は夢物語であり、達成することなど出来ないと考えて、周りに言うことも避けていました。ですが、このリーダー塾で夢を語る機会がありました。その時に、みんなの夢を聞き私の夢を話しているうちに叶うかどうかは分からないけれど、夢を持つことの大切さを感じました。更に多くの講義の先生方が夢を持ち、成功させてきたこと、そして夢を持ち続けることを私達に話してくださいました先生方のお話の中には失敗することの方が大半で、成功することのほうが稀というお話をする人もいました。その何度もする失敗を繰り返さないように反省し、改善することで成功につながる。この事は殆どのどのジャンルの先生もおっしゃっていたと思います。

このような経験から私は、夢を実現するために生きていこうと思います。今はそのためになるべく早くから行動して、後悔が無いように努力しています。今目指している夢が変わったとしても、夢というものに対して、全力で向かって行きたいともいます。

### 1 リーダー養成塾を受講して

私にとってリーダー塾での2週間は長くて短いものでした。

受講し終えて一番心に残っていることは「出会いに感謝」ということです。これは、講義の先生はもちろん、全国、また世界から集まった高校生たちに言えることです。リーダー塾に行かなければ出会えなかったであろう仲間が沢山います。塾での毎日は常にハードスケジュール。そして、「脳が汗をかくくらい考えろ！」と言われていました。そんな生活の中でお互いに真剣に向きあい、時に衝突しあい、笑いそして泣きあった事ができたのも、一人一人がそれぞれに志を持ち、塾に参加していたからだと思います。そんな友がいたからこそ、今まで学校の友人に言えなかった自分の「夢」を塾生みんなの前で語る事ができました。それができたのは、「自分の夢をきいてほしい！」とただただ思える友が塾にはいたからです。たった2週間と思えば、とても短いものですが、その期間の中で私は、一生付き合っていきたい仲間と出会うことができました。

### 2 印象に残った講義とその理由

「人のために働く」とあるけれど、私は、「自分のために働いている」この言葉は、中村ブレイスという会社の社長である中村俊郎さんが、講義中に言った言葉です。

塾に参加する前、事前に渡された講師一覧で名前を見たときから、中村さんの講義はとても楽しみにしていました。そして、講義中の中村さんが何度もくり返した「感謝の言葉」に、純粹に私は「この人はすごいなあ」という感想をもちました。講師の先生のほとんどは、私たち塾生に「話す・教える」という姿勢でいらっしゃるにもかかわらず、中村さんは、「私たち」からもらうもの、学ぶことは多い。とおっしゃっていました。また、「その人のために」なるのであるならば、困難は決して苦にはならないとおっしゃっていました。「自分のために、自分が満足や喜びを得るためにしたこと」が、「相手のためになり、喜びにもつながる中村さんが持っている“喜びのサイクル”私もこのサイクルをひろげていけたらいいなと思いました。

### 3 今後のわたし

リーダー塾で学んだことは沢山あります。しかし、その中でも私は「Be passion」という言葉が残っています。「Be passion」それは、「常に情熱的であれ」という意味です。塾に参加する以前の私は、何に対してもやる気がおきず、勉強にも身が入らず、しだいに距離を置くようになっていました。けれども、塾で自分よりもキラキラ輝く同世代を見て、「自分ももっと頑張らなくては！」と思われ、「頑張ろう！」と決意しました。何事も情熱的でなければ、自分を支えてくれる人、協力してくれる人も少なくなります。だから、私は「Be passion」という言葉を大切にしていきたいと思いました。

今後の目標として1つ目は勉強面。いままではやる気がおきないという理由で遠ざけていたものをもう一度「Be passion」でとりくみたいと思っています。2つ目は生活面。「Be passion」な精神で、生徒会の会長になりたいと思います。会長という学校の代表となり、よりよい学校をつくっていきます。もちろん「Be passion」だけでは解決できないこともあると思います。しかし、それでも「Be passion」でありつづけければ、誰かが手を差し伸べてくれると信じています。私から「Be passion」をひろげていき、学校を更によりよくしたいと思っています。このリーダー塾で学んだ「Be passion」精神を心に留め、邁進していきたいです。

## 1 リーダー養成塾を受講して

まずなによりもとても良い仲間と出会うことができたことが最大の収穫だと思う。リーダー養成塾に参加すると決意したときから強く望んでいたことがこれだけだけに、かなり満足している。二週間を家族以外の人と過ごすのはとても新鮮で、その仲間たちとの議論は最高に楽しかった。リーダー養成塾に参加しているどの人を見ても尊敬すべき点が多くあって、そんな人と関わることがとても楽しく、嬉しかった。普段は持たない競争心も持てた。

次に、アジア・ハイスクールサミットはとても難しかったが、その分自分の利益になるものもとても多かった。学校ではそもそも議論すら成り立たないような難しい議題に熱中して取り組む間は、時間を忘れて没頭した。個人個人が強い意志を持っている分、まとめには気を遣ったし、時間もかかった。時には議論がずれることもあったが、そんな時には担任の先生が導いてくださった。二組の二人の先生は一生目標とできる偉大な大人であり、こんな大人になりたい、と思った。

最後に、リー塾を勧めてくださった学校の先生、すぐに賛成してくれた両親、期間中塾生を支えてくださった運営の方々感謝します。良い経験をありがとうございました。

## 2 印象に残った講義とその理由

印象に残った講義といえば、僕の中では滝先生と中村先生だ。

もともと経営・ビジネスには関心があったが、文系分野ということであまり考えなくなっていた。けど、滝先生のお話を聞いてまた興味を引かれた。留学の話なども絡んで、僕の進路に多大な影響を与えた。また、自分がうまくやれば周りもついてくるという考えには共感したが、絶対成功させられるという自信がないとできないことだ。

中村先生のお話は、滝先生のケースとは対照的に、まったく知らない分野だった。だからなのかもしれないが僕は中村先生の仕事の内容よりも生き方に強く惹かれた。人のために時間を惜しまず、会社の社員とは熱く議論を交わす。自己と人との結びつきを重視するスタイルは難しいと思うが、それを自分のやりたいことと両立しているのはすごく尊敬した。

滝先生と中村先生の生き方はすごく対照的だが、どちらの先生も自分のやりたいことを貫いて成功を掴んでいる。そんなところが強く心に残った。

## 3 今後のわたし

リーダー養成塾に行き、僕の進路は大きく変わった。国内国公立薬学部志望から、国外留学ビジネス・経営学志望になったのだ。リーダー養成塾で留学への興味に火をつけられたのは言うまでもない。僕が経験したことのない留学という道を楽しそうに語られて、とてもいい刺激になった。だからとりあえずは、目前の問題を解決しつつ、海外の大学に留学することを目指そうと思う。リーダー養成塾で出会った仲間たちは日本全国、海外にまでいる。自分の刺激になることを聞いて、好奇心に従って、悔いのないように行動したい。

また、なにをするにも目指す姿・ビジョンが必要で、リーダー養成塾ではそれを数多く見つけることが出来た。そんな姿を忘れずに、自分をさらに磨きたい。リーダー養成塾から帰ってきてしばらくはなにも手につかなかったのは僕だけじゃないと思う。やっと最近考えられたことは、リーダー養成塾はきっかけを与えるための機会であり、それを生かす殺すは自分次第ということだ。リーダー養成塾は楽しかったなあ、学校はやりがいがないなあ、では行った意味がない。リーダー養成塾で手に入れたものはどんな環境であっても自分の力を発揮するためのものだ。そんなことを頭に置いて日々の高校生活を送りたい。

リーダー養成塾での二週間は僕の中では「世界で一番熱い夏」だったと思う。その気持ちが褪せてしまう前にリー塾プロジェクトへの参加や、リー塾の仲間たちと会うことで強い気持ちを維持し、行動を活発にしたい。そして将来は、二組の担任の先生方のような大人になり、リーダー養成塾に講師として招かれるような人物に成長したいと強く願っている。塾生の仲間とは絶対どこかで再会したい。その時にも、さらに上を目指していきたい。

### 1 リーダー養成塾を受講して

二週間、普段の生活とは全く違って、本当にあっという間で楽しかったです。行く前は、アジアについて知識が無かったり、積極的に考えを言葉で伝えるのが苦手だったりと不安も多かったけど、一日目から友達ができ、周りの方々も私たちにとても気を配ってくれたりして、すぐに不安がなくなりました。

そして、リーダーに対する考え方が変わったと思います。先頭でまとめて引っ張っていく人というイメージが強かったけれど、話を聞く、知る、先を見通して明るい未来を描く、行動するなどもっと大切なことがたくさんあるんだと多くの講師の方々から学びました。

あと、クラスでの活動が一番心に残っています。みんな本当に一生懸命で優しくて尊敬するところがたくさんあって、みんなと会えたことが本当に良かったと思っています。

### 2 印象に残った講義とその理由

沈壽官先生の「伝統を守り、現代を表現する」という講義です。他者の意見をくみ取りながらも、一人一人が一つの人類として世界に通用する人という話をして下さいました。自分を表現していく中で、「表」は見えるようにするスキル、「現」は内面の隠れて見えないものを取り出すことであり、今の私たちにまず大切なのは、何を美しいと感じ、何を正しいと感じるのかをしっかりと考えることだと学びました。自分の今までの人生での苦労や、私たちに大切なことをとても丁寧に話して下さいましたことが印象的で、考えるということの大切さや素晴らしさを一番感じた講義でした。

### 3 今後のわたし

グループディスカッション、みそ汁コンテスト、アジアハイスクールサミットなどで、みんなと協力して協同作業をする中で、相手を思いやることと常に考えることの大切さを学びました。

私は今まで面倒な事はすぐに考えることをやめていたけど、これからは問題に向き合って、どんなことでも自分でまず考えていきたいです。あと、人の良いところをととてもたくさん見つけられたので、これからもいろいろな人と関わって、思いやりを持っていきたいなと思います。私は今までは外国にあまり興味を持っていなくて、良いイメージじゃない国とかもありましたが、アジアから来た子たちと関わって、その子たちが大好きになったので、外国に興味を持ちました。テレビ等の報道で情報を集めることも大切だけど、それだけじゃなくて実際に合って話をしたり、外国に行ってみたりすることでもっといろんな事を知りたいです。今までは、将来は、日本の食料生産を支えたいと何となく思っていたけれど、アジアや世界に意識を向けたいです。これからの世界を私たちの世代が創っていくという自覚を持って、どんなことも全力で取り組んでいきたいです。

### 1 リーダー養成塾を受講して

僕にとって、リーダー養成塾で過ごした2週間は今まで生活してきた中で最も充実した時間となり、一生の思い出となりました。この塾がはじまった当初、僕は劣等感と不安感で押しつぶされそうでした。それは、同じ塾生の方はコミュニケーション能力が非常に高く、失敗を恐れない積極的な人が多くいたからです。これといった取り柄もなく、挑戦することにも億劫になりがちな自分はどうしたら皆のような人になれるのだろうかと思っていました。しかし、そのような人たちとの関わりを通して、皆と自分との違いは知的な好奇心があるかないか、ネガティブ思考であるのかどうかの差であることがわかりました。つまり、心の持ち方次第で自分でも皆みたいになれるということを学ぶ事ができたのです。

次にこの塾を通してできた友達の存在に感謝したいです。相談にのってくれただけでなく、自分の背中を押してくれた友達は心の支えとなりました。

そして、僕を送りだしてくれた親や学校の先生など書ききれない程の人の支えがあって僕は最高の経験をできた事を忘れず、その期待に応えていきたいです。

### 2 印象に残った講義とその理由

僕は中村ブレイス(株)の社長である中村俊郎先生の講義が一番印象に残りました。

中村先生は非常に寛大で優しい方でした。手足がなくて困ってる人たちのために試行錯誤を繰り返し、製品をつくり、予算をギリギリまで切り詰めて提供する。その姿勢に加え、人の立場に立って真剣に考える。このことこそが、人のために働く事なんだということを考えさせられました。

また、中村先生は僕の目標となりうる存在になりました。自分も将来、人のため尽くすことができ、心広く、優しく人と接していきたいと考えています。自分の理想の姿が中村先生であったため、大変感動しましたし、尊敬の念をいただきました。少しでも、中村先生のようになるよう日々の人との接し方に気を配った生活をしていきたいです。

### 3 今後のわたし

僕がリーダー養成塾に行く前に欠けていたことは様々な事に対する自信と経験でした。

そのため、大した挑戦などすることができず、いつまでも未熟な考えかたをもった人間でした。しかし、僕はリーダー養成塾でのディスカッションや講義を通して、失敗=いいことということを経験することができました。なので、これからの自分がしないといけないことというのは、何度も挑戦、失敗をすることだと思います。具体的に言うと、生徒会などの活動に参加することや、意見を出す場での発表など小さいことまで、今からでもできるようなことはいくらかもあると思うので挑戦を積み重ねていき、自分を成長させたいです。

さらに先のことについて言うと、僕は海外留学をしたいと考えてます。同じ塾生で留学経験のある人や講師の方々の話をきくと留学をしたことで視野はさらに広がり、知的な好奇心をくすぶるような素晴らしい経験ができると頻りにききました。将来、僕は建築士になって発展途上国に学校を建てる夢があります。そのために、僕は世界の建築技術を現地で学び、それを活かしていきたいと思っています。自分の将来の夢は中々、実現が難しいものと思われませんが、自信をもって、あきらめずに努力することが実現につながることも学びました。なので、自分で決めた道を信じ、ひたすら歩み続けたいとおもいます。そして、リーダー養成塾で過ごした2週間が自分にとって夢に向かう原点といえるものにします。

### 1 リーダー養成塾を受講して

すばらしい講義、尊敬できる担任の先生、学生リーダー、そして個性的な友達。本当に刺激を受けました。今までの自分はなんて視野が狭かったのだろうと感じました。日本だけでなく世界中の人と触れ合い、違う考えの人と意見を闘わせいい経験ができました。リー塾に行く前、人と意見が違ってはいけないと思っていたけど、違う意見があるからこそ新しいアイデアが出てきてぶつかり合うからこそ生まれる友情があるんだと知りました。リー塾での友人は私の宝物です。この年で尊敬できる人に出会えて良かったと思います。加藤さん、相戸さん、先生方など格好いい大人を見て、大人になるのが少し楽しみになりました。

学校生活で心が折れそうになることもあるけど、リー塾の仲間を思い出してがんばれる、そういう人達に出会えました。リーダー塾は、私の高校生活1番の思い出になりました。

### 2 印象に残った講義とその理由

滝久雄先生のおもしろくて、そしてためになる講義でした。

知→情→意ではなく、情→意→知を強調されていて、成程なと思いました。やりたくないことも日常で沢山あるけど、それをやりたいことにできれば、効率はもっと上がり、楽しく生活できます。やることはやって、人生を楽しんでいるのが滝先生だと感じました。人としてすばらしく魅力的で、自分も将来そうなりたと思いました。また、成果を出す人は、周りの人より失敗が多いとおっしゃっていて、深く心に残りました。どんどん失敗していいと周りの大人は言わないので、さすがだなと思いました。滝先生も自分も失敗を多くしてきたとおっしゃっていて、自分も挑戦していこうと思いました。

### 3 今後のわたし

学生リーダーの方たちを見て大学へ行って積極的に学ぼうと思うようになりました。勉強はもちろんのこと、ディスカッションやボランティア、インターンなど「人間力」をつくる活動をどんどんやっていこうと思います。リー塾へ行き、ディスカッションの楽しさを実感し、高3の夏ですが、受験校を変更しました。それは、もっと上を目指し、様々な人と交流したいと思ったからです。加藤暁子さんが講義の中で、私たちはリーダーを目指す選ばれた人間なんだとおっしゃっていましたが、私はまだそのような自信はありませんでした。ですが、リー塾で一流の方々、また将来一流になるだろう友人を目の当たりにして、自分も同じような立場になりたい、負けたくないと思うようになりました。以前は、少し不利になるといじけたりひねくれたりする所がありましたが、今はもうまっすぐな気持ちで進んでいきます。

これから受験期を迎え、大変なこともあると思いますが、問題から目を背けず、自分自身で解決して自信をつけたいです。幸せで強い人間になって、沢山の人のために困まれて、そんな人になるため毎日「自信」と「自身」をもってがんばりたいです。



## 1 リーダー養成塾を受講して

この二週間は仲間と笑って、泣いて、苦しんで、考えて、怒られて…というような青春と呼ばれるものが凝縮されたような日々を過ごせた。最初はお互いのことをよく知らず話し合えなかったり、ディスカッションの方法もよくわからなかったけれど、最終日に近づくほど気兼ねなく意見交流が出来るようになり、自分らしさを存分に発揮するようになった。また、アジアハイスクールサミットでは、難題を押し付けられ苦しんだが、リーダーとして自分が何をすべきかを考えて行動すること、時間に間に合わせることの大切さを身をもって知れたことはこれからの財産になると思う。講師の方々の講義はジャンルが幅広く、事前に調べたプロフィールから面白そうな講師の方以外の方の話も面白く、学校では教わらないようなリーダーとしての心構えや専門的な考え方が身についた。そして、スマートフォンを取り上げられテレビもない場所で二週間過ごしたことで、人と面と向かって会話することで生まれる、メールでは伝わらない感情が存在することと、人と会話することから逃げない心の強さが手に入った。さらに、この二週間は講義やディスカッション、アジアハイスクールサミットがかなり詰まっており、体力と精神力の大切さを実感した。

## 2 印象に残った講義とその理由

李鳳宇先生と張済国先生の話がとても印象深かった。

李鳳宇先生の話は主に映画「インザヒーロー」と李先生の映画製作の考え方についての話だった。僕自身アニメが好きで映像作品を見る機会が多いので最初から期待していた。先生の講義で「日本人は質素で『自然』と『人』を対比させない独特の感性を持つ」や「映画で泣かせるときはセリフとセリフの間の何も話していない間で想像させる」といった言葉が僕自身の身に染みだ。

張済国先生は元外交官で「高校生のうちに準備しておくべき3つのこと」という話が印象に残っている。3つのうち特に興味深いと思ったことは「自分の使命に対する絶え間ない質問」で、僕自身たまに自分がなぜ生まれてきたのかを考えるとときはあるが、使命については考えたことが無く、常に考えることはなかった。そうすることにより自分の大切さや真の才能を見出せるそうなので、考えるようにしたい。

## 3 今後のわたし

まずはリーダー養成塾で学んだことを行動に移したい。

具体的にはまず知識をつけたい。自分の将来に必要な知識だけでなく、歴史を知り、自分の将来に対する思いを考えたり、昔と同じことをしないようにしたい。そして、とにかく行動したい。自分の興味のある展示・公演に気軽に足を運ぶことで自分の知識・興味の幅を広くしたい。また、自分の考えたことを実践することでたくさん失敗したい。そしてそこから成功したこと、失敗したことを見つけなぜ成功・失敗したのかを学び、次の行動に生かせるようにしたい。

次に、次の世代にこのリーダー養成塾をもっと知ってもらいたい。

リーダー養成塾は一般人への認知度がまだ低く、隠れたリーダーとしての才能を持つ人が参加できていないような気がする。また、中学時代にこの塾について、知識を多く持っていれば、高校一年の頃から参加できたのかもしれない。そう思うと、中学生・高校生にもっと積極的に参加を呼びかけて、一年からでも参加しやすいような空気を作っていきたい。

## 1 リーダー養成塾を受講して

今回、日本の次世代リーダー養成塾に行って、多くのことを感じる事ができたと思いました。

1つ目は英語をもっと頑張らなければいけないということです。明石康先生の講義はすべて英語で、1つ1つの単語は聞きとれても文を理解することができずに、講義全体の内容がよく分かりませんでした。また、多くの先生が、これからは英語が必要になると言っていたからです。

2つ目は知識・視野が広がったということです。2週間の間、25名の講師の方に講義していただき、その後ディスカッションを行いました。それにより、その先生がどのような気持ちで活動しているのかや、みんなの考えが分かり、自分をもっと頑張らなければいけないところが明確になったからです。

3つ目は他県のたくさんの友達ができよかったということです。短い期間でしたが、他県の学生たちの考えが分かり、たくさんのことを学べたからです。また、ハイスクール・サミットやみそ汁コンテストでは仲間と協力することの大切さを改めて感じました。

## 2 印象に残った講義とその理由

1番印象に残った講義は、中村ブレイス株式会社代表取締役社長である中村俊郎先生の講義です。先生は過疎化した町で1人で会社を立ち上げたというところで、それは成功する可能性がほとんどないからすごい勇氣だなと思ったし、最初は自分が楽しむだけに会社をつくったのに、それがみんなを笑顔にさせる会社になっていったというのもすごいと思いました。また、事故によって足を失った患者さんが中村ブレイスの義足によって、2本の足で歩けることの素晴らしさを感じることができたというところで、足を失って絶望してしまった患者さんを前向きな気持ちにすることができるこの会社は本当にすごい会社だと思いました。

## 3 今後のわたし

講義の後の90分間のディスカッションやハイスクール・サミットの際に自分の意見をしっかり相手に伝えることができたので、学校生活でも、挙手したり、相手に分かりやすく伝えるということを心がけていきたい。また、ディスカッションでは、講師の方がどのような考えで活動されているかを考えながらできたので、相手や筆者の考えにも注目していこうと思います。

マハティール先生のご講義では、戦争で解決できることは何もなくて、ただ傷つく人が増えるだけだと聞いて、本当にその通りだと思ったし、最近では、集団的自衛権などの問題でまた戦争が起こるのではないかという心配もあるので、僕たちが大人になったら、戦争を絶対にしないような社会を作らなければいけないと思いました。今回アジアの6ヶ国の学生と生活して、文化の違いがたくさんあることが分かったので、お互いの文化を尊重して生活していこうと思いました。

### 1 リーダー養成塾を受講して

私がリーダー塾を受講して一番感じたことは、志の高い仲間達の多さに対する驚きと尊敬です。リーダー塾に参加している人たちは、皆私と同世代であるにもかかわらず、とても広い視野と豊富な知識と、将来のビジョンを持っていました。また、将来を見据え、今何ができるか、何をしなければならぬかを明確にしている人が多くいました。私は将来どうしたいかが、具体的に決まっていなまま、少しでもそのヒントを掴みたいと思ってリーダー塾に参加しました。だからこのような目標を持った仲間達との関わりは刺激的で、有意義なものであったと同時に、正直、期間中焦りも強く感じました。リーダー塾を卒業した今もまだ将来の方向は決まっていません。ただ、リーダー塾を通して得た友人の存在は、リーダー塾への参加前とは大きく異なる要素です。リーダー塾開催期間が終わっても、通信機器を使って繋がることのできるため、将来を考える際はよい相談相手になってくれます。高い志をもった友人と語っていると、自然と気持ちが奮い立ってきます。私たちが未来を変えるのだと思えてきます。こんな素敵な友人を得ることができたこと、それが一番よかったことだと思います。

### 2 印象に残った講義とその理由

一番印象に残っている講義は、青山学院大学教授でいらっしゃる榊原英資先生の講義です。講義の中で先生が繰り返し述べられた「継続することの大切さ、難しさ」というものが自分の心に強く残っています。リーダー塾の加藤事務局長のご講義でも、「始めるより続けることの方が大変」というお話がありました。私はこれまで何事も継続することができていなかったのですが、お二方の講義を受けてからは、これを乗り越えなければリーダーになることはできないのだとより一層感じるようになりました。リーダー塾での講義は、各分野について知識を深めることに繋がる講義もあり、大変勉強になりました。ただそれだけでなく、榊原先生のように、人としてどのように生きていくのかについてお話くださった先生方もいて、心に響きました。私は知識だけではなく、人として一流である人がリーダーだと思います。講義をしてくださった先生方のように自分を磨いていきたいと思いました。

### 3 今後のわたし

リーダー塾に参加して、たくさんの仲間から刺激を受けました。今回のリーダー塾ではアジアハイスクールサミットが行われました。その中で未来のアジアの中で、自分たち高校生の世代の役割がいかに重要か、そして自分たちがもつ可能性がいかに大きいかを全員で感じ取ることができました。2週間かけて仲間達と考えて生み出したアジアの未来像が、実現できるように、私たちは動き出しています。実際リーダー塾に参加した11期生を中心とした組織が立ち上がっているのですが、そこで最優先だと捉えているのが、全国の高校生を巻き込んで将来を作り上げていく、ということです。リーダー塾を通して、私たちは一人一人がもっている多様な能力を結集すれば、それまで考えもしなかった、素晴らしいものを生み出すことができることを実感しました。勿論、アジアというとても大きな世界を担うことの難しさも十分理解しています。だからこそ、全ての高校生と一緒に作り上げていきたいと考えたのです。そこで、今私ができることというのは、まずアジアや世界について、自分が住む日本も含めて理解していく、ということだと思います。それと同時に、周囲にも知らせていき、自分たちが未来を担っていくことを自覚し、責任、そして希望をもってもらうことが必要だと思います。私を含めて、まだ日常での視野が狭い人が多いのが現状だと思います。しかし、今後ますます国際化が進んでいく世界で生きていくために、世界に目を向けていくことは大切です。

未来を作る、その一員として、私は、まず自分から働きかけていきたいと思っています。

### 1 リーダー養成塾を受講して

リーダー塾に行く前は、自分はリーダー塾に行っても何もできないんじゃないか・・・。と思い、あまり気が進みませんでした。実際にリーダー塾初日、同じクラスになった子とあまり仲良くすることができず、内心帰りたいたってしてしまうほどでした。

ですが、リーダー塾2日目のチームビルディング。これをきっかけに話をしていなかった子とも話すことができるようになり、初めてのクラスでのまとまった行動に、“わくわく”しました。

リーダー塾を通して思ったこと、高い志を持った人とかかわることで思ったことは、自分の視野の狭さでした。留学を経験した人、これから留学を経験しようとしている人、私にはそんな人たちがすごくまぶしく見えました。だから、私は絶対留学します。

### 2 印象に残った講義とその理由

私が一番印象に残った講義は、滝久雄先生の講義です。

自分が経済に興味があるというのがありますが、講義の後のディスカッションがクラスです。初めてのディスカッションだったからです。このクラスのディスカッションの話し合いの内容は、後のアジアハイスクールサミットでの発表で報告しなければならなかったもので、初めてのディスカッションだけどみんなかなりのプレッシャーの中ディスカッションをしていたのを覚えています。

先生の話の中では、知→情→意ではなく情→意→知が大切だ。ということをお話していました。本の中でもこのことは詳しく書いてあって、私も共感することがあって、先生の話はすごく受け入れやすいものでした。ビジネスについてたくさんのお話を聞いて下さったので、経済学をこれから学んでいこうとしている私としては、とても参考になりました。

### 3 今後のわたし

留学。私は大学に入学したら絶対留学しよう。と思いました。

リーダー塾に行く前まで留学なんて考えてみたこともありませんでした。しかし、私のクラスの三年生は半分が留学を経験していました。同じ学年のはずなのに、どうしてこんなに積んでいるものが違うのか・・・。と自分の経験の少なさにあきれられる反面、このままでは自分はリーダーとして活躍できるのか不安になりました。リーダー塾で講義をして下さった先生方は“失敗を恐れるな”ということをお話してみえました。今まで何をやるにも保守的だった自分が、初めて日本を出てみたいと思うきっかけを作ってくれたリーダー塾。参加しただけで終わらせたくない。思っただけで終わらせたくない。そのような気持ちを大切に行動に移していきたいと思えます。

リーダー塾が終わり、はや2週間がたとうとしています。リーダー塾の関係する方と出会って1か月。濃すぎる2週間をすごしたため終わってからの夏休みは空っぽのように感じました。でも、余韻に浸るのは今日までです。絶対にみんなに追いついて、追い越して、また会える日を楽しみにしています。